

様式3

令和5年度 第3回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立鳥取湖陵高等学校
 学校長 若林 安德

評 価 日	令和6年2月16日(金)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 重点目標の達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自立を促すキャリア形成能力を育てる教育の推進 …概ね達成 ○協同の学びで自他を高める教育の推進…十分達成 ○学びを創造する力を高める教育の推進…概ね達成 ○業務改善の取組…概ね達成 <p>2 目標達成のための取組結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT活用について <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用を推進している一方で自宅学習時間が減少しているが、ICT活用により授業の理解力が上がり自宅学習の必要性が低くなってきているとも考えられる。ICT活用で良い効果が出ているのではないか。 ・ICT活用が推進していくことで、図書の利用率に変化はないか。従来の授業形態(メモを取る、人の話を聞くなど)の低下はないか。 ○地域連携について <ul style="list-style-type: none"> ・インフォーマル学習(校外活動)を評価することで進学・就職のアピールポイントになる。評価システムの構築が必要ではないか。生徒の良いポテンシャルを引き出してほしい。 ・生涯学習や地域の学びとして、鳥取湖陵高校の生徒ができるメニューを情報提供してほしい。味噌や苗植えなどは参加希望者が多く募集定員はすぐ埋まる。地域の人が求めている。 ・県立高校も地域イベントに参加する生徒がもっと増えてほしい。地域との関係もよりよくなると思う。 ・農業科の教員が不足している。鳥取大学としても高校生から将来の教員を育てたいし、高校生も教員を目指してほしい。鳥取湖陵高校から毎年農学部に進学して 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用と学力の相関分析はしていないが、生徒の学習理解度は基礎力診断テストの結果から推察できる。大学進学を目安であるCゾーン圏内の生徒を育てていきたい。 ・図書館の貸出人数・冊数には大きな変化はないが、今後の電子書籍化導入により影響が出てくるかもしれない。 ・本校の教育的資源(生徒・教職員・施設設備等)を効果的に活用し、本校の特色や魅力を地域へPRするとともに、地域の活性化に貢献できるよう今後も積極的に地域連携に取り組んでいく。 ・専門高校で学んだ知識や技術が県内の教育現場で生かされるよう、教育人材育成にも取り組ん 	

おり、授業で高大連携もしている。生徒に教職への意識を高めてほしい。

3 具体目標の達成状況について

○自宅学習について

- ・自宅学習していない生徒は何をしているのか。鳥大附属幼稚園で実施した夏のボランティアでは鳥取湖陵高校の生徒に参加してもらい助かった。生徒の放課後の過ごし方が課題か。
- ・やらされ感でなく、生徒自身がやりたいという意欲をつけさせてほしい。何か目的を持って進路目標を立てられるよう工夫が必要。
- ・小学校でも家庭学習時間が減少している。子どもの体調や多忙化等で学校の居残り学習が難しい状況にある。学びの姿勢を小学校で根付かせ中高に繋げたい。

○部活動について

- ・部活動は地域に移行していくようだが、高校の部活動が一層厳しくなるのではないか。
- ・中学生は部活動で高校を選ぶ生徒もいる。部活動にない個人競技についても学校で協力していく体制が必要ではないか。個別の部活に対応することで鳥取湖陵高校に行こうかと考えるかもしれない。
- ・中学校では全員の部活動加入を廃止し校外活動も可とする学校が増えているため、部活動の維持が難しい状況。中学生は高校を部活動で選ぶ生徒が多い傾向。ニーズのある部活動に重点を置くなど部活動の精選が必要ではないか。
- ・小学校では子どもの体調や生活に合わせ、地域社会でのスポーツ体験や文化活動に親しむ取り組みが広がっている。
- ・生徒は大会出場より（部活動を）やることを楽しむ傾向にある。競う必要性を感じないのではないか。

4 目標達成のために取り組んだ具体方策について

○広報活動について

- ・SNSの活用を生徒に編集させるなど生徒に関わらせてはどうか。もっと活発になるのではないか。

でいく。

- ・Chromebook や学習 e ポータル「まなびポケット」等 I C T を活用した自宅学習の充実を推進していく。また、生徒が能動的に取り組めるような学習教材を各教科で検討していく。

- ・未加入者向けの部活動紹介（年 2 回実施）や同窓会からの部活動援助金、個人競技大会への生徒・顧問の派遣など、部活動の活性化に向けて今後も様々な取り組みを行っていききたい。
- ・部活動加入率の低迷、教職員の多忙化等の課題を解消する上でも部活動の精選や特色を検討していく。
- ・大会出場や勝敗にこだわらない部活動のあり方等についても、生徒と顧問が一緒に考えていきたい。

- ・学校紹介 DVD を今年度更新し内容をより充実させた。中学校

<ul style="list-style-type: none"> ・学校には地域での活動が可能なメニュー（内容）をお願いしている。「鳥取湖陵高校の生徒はこういったことができる」とSNSなどで発信してほしい。 ・SNSなどで卒業生の活躍が見えるよう（ビフォーアフター）インタビュー記事を上げてはどうか。 ・学校 YouTube の運用が難しいようならインスタのみにするなど、できることをやる方が良いのではないか。中学生等に伝える手段としてホームページ等は有効。発信のプラットフォームとして大事にしてほしい。 <p>○学校評価アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象の学校評価アンケートで「本校の先生は、わかりやすい授業に努めていると思うか」という設問があるが、保護者として回答しにくいので見直した方が良いのではないか。 <p>5 その他</p> <p>○定員割れ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取湖陵高校は総合選択制ということで、いろいろな科の学習ができるという利点がある。くくり募集にすれば志願者が増えるのではないか。 <p>○生徒の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取湖陵高校はクラス替えがないことも影響し、人間関係・人付き合いに疲れている生徒が少なくないのではないか。生徒は疲れているから部活動や勉強に取り組みにくいのではないか。 ・高校生は自転車通学時にヘルメット着用のできている生徒が少ない。危険なので着用をさせてほしい。 ・自己評価表に「クラスの実情に即した人権教育…」とあるがクラスの実情とは何か。 	<p>説明会等で活用したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生等に向けた広報チラシ（QRコード付）を作成・配布し、外部から随時アクセスできるよう推進していく。 ・ホームページやインスタグラムなど定期的かつタイムリーに更新作業を行っていきたい。 <p>・アンケート対象者が回答しやすいよう設問内容を見直したい。</p> <p>・くくり募集を実施する学校の状況を参考にしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の悩みや困り感等については複数のアンケートや面接週間、教育相談室の活用等で把握・共有できるよう組織的に取り組んでおり、今後もより丁寧に継続していく。 ・自転車通学生へのヘルメット着用指導については、道路交通法を含め指導を継続していく。 ・「生徒の多様性に配慮する」という意味合いで記述した。人権教育や制服など多様性を意識した教育活動が求められている。
---	--